

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : ポートランド州立大学

留学期間 : 平成 26 年 9 月 19 日 ~ 平成 28 年 11 月

日本での約二か月間の一時帰国を経て、アメリカでの大学生活二年目をスタートさせました。わたしの大学は 9 月末から秋学期が始まるのですが、8 月中旬に帰ってきてしばらく日本人の短期留学生をお手伝いするアルバイトをしていました。二年目を始めるにあたって、私には大きく 2 つの目標がありました。一つ目は長期のアルバイトを見つけること、もう一つは奨学金を獲得することです。アルバイトは、大学一年生の時からずっと探していて応募も数回したのですが、結局受かったのは短期アルバイトのみ。それだけでは到底生活費を自分で賄うことなどは出来ないのです、継続できるアルバイトを見つけたかったのです。また、2 年目からは両親から学費を含め、金銭的援助一切なしで学業を続けることになっていたのです、例えば大した額にならなかったとしても少しでも貯金を増やしたいという思いもありました。いくつか面接を受け、遂に大学内でのコンピューター・ラボでのアテンダントの仕事を手に入れることが出来ました。このアルバイトでは生徒の質問に答えるだけでなく、電話対応でヘルプデスクもしなければいけないので英語力にまだまだ不安の多い私にとって決して簡単なものではなかったのですが、忙しくない時には宿題をしてもいいことになっていたのです。学生としてはとても有難いポジション。また、このアルバイトを通じて英語力はもちろん、コンピューターに関する知識、更にはカスタマーサービスなどについても学ぶことができ、とても良い経験をさせて頂いています。

そして二つ目の目標、奨学金はもちろん、学生ローンだけでは払いきれない学費負担をできるだけ減らしたかったからです。私の大学では州立大学のわりには奨学金の機会が多く、特に留学生のみ対象のものは二つあるのでその両方に応募しました。片方はエッセイと応募用紙のみが必要で一学期 1500 ドル支給されるもの、もう一つは 3000 ドル支給されますが、その分面接・プレゼンテーションもしなければいけないものでした。前者には無事合格できたのですが、後者には合格できず。パブリックスピーキングが苦手という点だけでなく、聞かれた質問に上手く答えることが出来なかったのが原因だと思います。ただ、奨学金の準備などを通して自分が留学で何をしたいのか、将来について、またプレゼンテーションの仕方などについても再度深く考えるいい機会になりました。

学業面では、二年目ということもあり、割とスムーズなスタートを切ることが出来ました。約 4 ヶ月という夏休み期間中のブランクはあったものの、秋学期は専攻のコミュニケーションを含めた必須科目を三つ選択し、まずまずの成績でした。冬学期に取った授業のうち一つの Mass Communication and Society はコミュニケーション学の中でも私が特に興味があり学びたいと思っていたメディア・ポップカルチャーが中心の内容でメディアがどのように私たちの生活と結びついているのか学びました。そして春学期に選択した Media Literacy も似た内容だったのですが、こちらはもっと政治や経済などのメディアに対する影響、そしてそれがどのように私たちの暮らしに影響しているのかというとても興味深い内容でした。教授もとても知識

のある方で、大学生活内で初めてのアップーディヴィジョンクラス(私の大学では 1-500 番代まで難易度ごとにクラスが分けられており、100-200 番代はイントロまたは基礎的なクラス、300 番代以上はアップーディヴィジョンと呼ばれる応用のクラス、500 番代は大学院生のための授業になっています)で決して簡単ではなかったのですが、その分今までで一番やりがいのある授業でした。二年目は、一年目に比べ、より自分の興味のある分野を中心に学べるようになったのが一番の大きな変化でした。内容は以前より少しレベルが上がり難易度も高くなったものの、その分やりがいも増え、アメリカの大学に来て好きなことを勉強することが出来て本当に幸せだと感じました。毎日が学業で忙しくストレスも大きかったものの、その分得たものも大きかったです。

学業やアルバイトの他に、日本人学生会で副会長を務めたのも一つの大きな経験でした。学年の初めにはほぼ機能していなかったこの団体を復活させ、最終的に日本から芸能人の方をゲストとして招き大きなイベントを開催させるのは決して楽ではありませんでしたが、多くのことを学びました。例えば予算の管理や外部団体との交渉、ゲストの方を呼ぶに当たって日本の芸能事務所との契約など、初めてのことはわかりましたが、学校での勉強だけでは絶対に出来なかったであろう貴重な経験になりました。準備が大変だった分、達成感も大きかったです。

一年目は、学校が 6 月に終わり次第すぐに帰国したのですが、二年目の夏休みはアメリカにずっと滞在することに。課題はまだまだあるものの、こうして二年目も無事、単位を一つも落とさず、一年目よりも英語力も学力も成長を感じつつ終えることとなりました。